

令和2年度9月補正予算の主な事業

参 考 資 料

徳 島 県

目 次

頁

1 「新型コロナ」対策

◆業と雇用を守る

- (1) ⑧ 中小企業・農林漁業者等への継続的・安定的な「資金繰り」の支援 1
新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業
新型コロナウイルス対策農林漁業者金融支援事業
- (2) 中小・小規模事業者向け「新型コロナウイルス感染症」対策 2
新型コロナウイルス対応！企業応援給付金
- (3) 生活衛生関係営業継続応援事業 3
- (4) 新型コロナウイルス対策農林漁業者緊急支援事業 4
新型コロナウイルス対策農林漁業者応援給付金
- (5) ⑧ 乗って応援！公共交通利用促進事業 5
- (6) ⑧ WITH・コロナ時代における「イノベーション」の促進 6
- (7) ⑧ WITH・コロナ「徳島ビジネスチャレンジメッセ」強化事業 7
- (8) 新型コロナウイルス対策木材活用緊急支援事業 8
大径原木加工施設整備緊急対策事業
⑧仮設住宅県産材活用モデル事業

◆暮らしと命を守る

- (9) ⑧ 医療資機材等整備事業 9
- (10) ⑧ プッシュ型支援強化推進事業 10
- (11) 生活福祉資金貸付金 11
- (12) ⑧ 在宅障がい者等安心確保事業 12

◆徳島の魅力アップ

- (13) ⑧ 「WITH・コロナ対応型」マラソンへのチャレンジ 13
⑧ 「WITH・コロナ」時代のとくしまマラソン モデル創出事業
- (14) ⑧ リタイアインフラを活用したリスタート「とくしま暮らし」提案モデル事業 14
- (15) ⑧ WITHコロナに向けたターンテーブル対応強化事業 15
- (16) リスタート！体感とくしまモデル化事業 16
- (17) 首都圏・関西圏発！「阿波おどり」魅力発信戦略 17
首都圏発・阿波おどり普及啓発事業
阿波おどReスタート！From関西
- (18) ⑧ 「とくしまニューノーマル映画祭」開催事業 18

◆学びを支える

- (19) ⑧ 私立高等学校等オンライン学習環境整備支援事業 19
- (20) ⑧ 「新しい生活様式」に対応した学校施設魅力向上事業 20
- (21) ⑧ 県立学校「ディスカバーとくしま」促進事業 21
- (22) ⑧ 県立学校生通学時における「新しい生活様式」導入推進事業 22

◆新しい生活様式の確立

- (23) ⑧ 脱ハンコ！県庁バックオフィスデジタル化加速事業 23
- (24) ⑧ 障がい者「eスポーツ」交流大会開催事業 24
- (25) ⑧ 電子図書館を使いやすくする事業 25
- (26) ⑧ 新たなスポーツ大会・合宿スタイル確立事業 26

2 「災害列島」対策（安全・安心とくしま）

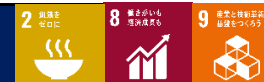
- (27) ⑧ 糖尿病アクション事業 27
- (28) ⑧ 国保ヘルスアップ支援事業 28
- (29) ⑧ 病床機能分化・連携推進体制整備事業 29
- (30) ⑧ 地域医療介護総合確保基金事業（介護分） 30
- (31) ⑧ 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業 31

3 「人口減少」対策（魅力感動・革新創造とくしま）

- (32) ⑧ 「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」整備推進事業 32
- (33) ⑧ “ニューノーマル”阿波おどりの祭典事業 33
- (34) ⑧ WITH・コロナ時代の「アニメの聖地とくしま」チャレンジ事業 34
- (35) ⑧ 「WITH・コロナ対応型」マラソンへのチャレンジ【P. 13再掲】
とくしまマラソン支援事業
- (36) ⑧ 周遊促進！徳島観光すいすい事業 35

4 とくしまリスタート！プログラム 36

⑨ 中小企業・農林漁業者等への継続的・安定的な「資金繰り」の支援



【令和2年度9月補正予算額 2,784,000千円】

1 目的

新型コロナウイルス感染症に対応した中小企業・農林漁業者向け融資の利用(見込み)増に伴い、融資制度の継続的・安定的な運用を図るため、利子補給所要額を基金に積み立てるとともに、信用保証料補助の増額を行い、県内事業者の資金繰りに万全を期する。

※基金の名称：徳島県新型コロナウイルス感染症対応利子補給基金

2 事業内容

(1) 新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給事業 2,734,000千円

全国トップクラスの融資制度「保証料ゼロ・3年間実質無利子」である「新型コロナウイルス感染症対応資金」制度の安定的な運用を図るため、利子補給に要する県所要予定額全額を基金に積み立て、中小企業の資金繰りに万全を期するとともに、利用実績の増大に伴い必要となる信用保証料の増額を行う。

- ▶ 利子補給基金積立分(3カ年分) 1,824,000千円
- ▶ 信用保証料補助分(借入時一括納付分) 910,000千円

(2) 新型コロナ対策農林漁業者金融支援事業 50,000千円

本県独自の融資制度「保証料ゼロ・5年間実質無利子」である「新型コロナ対策農林漁業者金融支援事業」の安定的な運用を図るため、利子補給に要する所要予定額全額を基金に積み立て、農林漁業者の資金繰りに万全を期する。

- ▶ 利子補給基金積立分(5カ年分) 50,000千円

担当：企業支援課、農林水産政策課

中小・小規模事業者向け「新型コロナウイルス感染症」対策



【令和2年度9月補正予算額 3,000,000千円】

1 目 的 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営環境に直面している中小・小規模事業者の業と雇用を守るため創設した、本県独自の融資連動型「新型コロナ対応！企業応援給付金」について、資金需要に対応するため期間の延長及び増額を行う。

2 事業内容 **新型コロナ対応！企業応援給付金 3,000,000千円**

▶ 支給対象者：次の(1)～(3)のすべての支給要件を満たす事業者

(1) 令和2年2月以降に、徳島県中小企業向け融資制度「セーフティネット資金」又は「新型コロナウイルス感染症対応資金」による融資を受けている者であること

(2) 申請日において、令和2年2月以降の売上が、以下の①から③までのいずれかに該当する者であること

①最近1か月の売上実績及び、その後2か月を含む3か月の売上見込みが、前年同期比で50%以上減少していること

②最近2か月の売上実績及び、その後1か月を含む3か月の売上見込みが、前年同月比で50%以上減少していること

③連続した3か月間の売上実績が、前年同期比で50%以上減少していること

(※) 創業間もない事業者も利用可能

(3) 概ね雇用が維持されていること

▶ 支給額：融資額の10% (上限100万円)

▶ 申請期限：令和3年1月29日まで延長
ただし、「セーフティネット資金」又は「新型コロナウイルス感染症対応資金」を令和2年12月31日までに保証申込していること

担当：商工政策課

生活衛生関係営業継続応援事業



【令和2年度9月補正予算額 80,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営環境に直面している飲食業や理・美容業等の生活衛生関係営業を守るために創設した「生活衛生関係営業者応援給付金」について、事業期間の延長及び増額を行い、営業継続と感染拡大防止の両立を目指す事業者を支援する。

2 事業内容 **生活衛生関係営業者応援給付金 80,000千円**

○支給対象者：次の要件を満たしている事業者

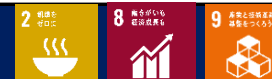
- (1) 生活衛生関係営業者であること
- (2) 日本政策金融公庫の「生活衛生新型コロナウイルス感染症特別貸付」の融資を受けていること
- (3) 申請日において、最近1ヶ月の売上高が確定している場合、その売上高が前年または前々年同期比で、50%以上減少していること

○支給額：融資額（借換の融資額は除く）の10%以内（上限1,000千円）

○申請期限：令和3年1月29日まで延長

担当：安全衛生課

新型コロナ対策農林漁業者緊急支援事業



【令和2年度9月補正予算額 30,000千円】

1 目 的 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大きな影響を受けた農林漁業者の業を守るために創設した、「新型コロナ対策農林漁業者応援給付金」について、期間の延長及び増額を行う。

2 事業内容 **新型コロナ対策農林漁業者応援給付金 30,000千円**

◇支給対象者：次の①及び②の要件をすべて満たす農林漁業者

- ①「新型コロナ対策農林漁業者金融支援事業」の融資を受けていること
- ②申請日において、令和2年2月以降の連続した3か月間の収入実績が、前年同期比で50%以上減少していること 等

◇支給額：融資額の10%（上限：個人50万円、法人100万円）

◇申請期限：令和3年1月29日まで延長

⑨ 乗って応援！公共交通利用促進事業



【令和2年度9月補正予算額 200,000千円】

- 1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う移動自粛により、利用者が大きく落ち込んでいる公共交通の需要を喚起するため、「プレミアム交通券の発行」や「貸切バス活用事業」を実施し、公共交通の「利用促進」と「業と雇用の維持・確保」を図る。
- 2 事業内容
- (1) ⑨ 公共交通「応援割」事業
日常生活での移動にも、県内観光地への周遊にも、誰もが、お手軽・お得に利用できる「とくしまプレミアム交通券（仮称）」を発行する。
【利用可能交通機関】
路線バス、高速バス、鉄道、タクシー、フェリー、航空
【イメージ】
例) 額面5,000円の交通券を、半額の2,500円で販売
- (2) ⑨ 貸切バス「スマート利用」応援事業
「WITH・コロナ時代」のスマートで便利な移動手段を創出するため、
◆十分な座席スペースにより、「快適と安心」を売りにしたバス旅行商品の造成
◆「生活交通」や観光地への「二次交通」の充実につながる、周遊バスの実証運行に要する経費を支援する。
【対象者】
県内貸切バスを利用する旅行会社等



WITH・コロナ時代における「イノベーション」の促進



【 制度改正 】

1 目的 WITH・コロナ時代において、感染症対策に不可欠となる医薬品や衛生材料など重要な製品に関し、生産拠点の整備を進める事業者に対して補助する。
また、デジタル化による新事業転換や多角化など、中小企業等の「新しい生活様式導入」の取組みを支援するため融資制度を創設する。

2 事業内容

(1) 企業立地補助制度の拡充

新型コロナウイルスをはじめ、感染症対策に不可欠となる医薬品や衛生材料など健康的な生活を営む上で重要な製品に関し、円滑な生産供給体制の整備を行う事業者への補助制度を創設する。

① 「生産拠点強化促進事業」の創設

【補助要件】

- ・新規地元雇用人数 10人以上
- ・投下固定資産総額 1億円以上
- ・補助率：投下固定資産額の5～15%以内

(2) 中小企業向け融資制度の拡充

DX(デジタルトランスフォーメーション)による新事業転換や多角化など、中小企業等の「新しい生活様式導入」の取組みを支援するため、「新事業展開・リカレント支援資金」に「WITH・コロナ応援枠」を創設する。

① <WITH・コロナ応援枠>

- ・融資限度額：120,000千円
- ・融資利率：年1.60%以内
- ・保証料率：年0.35%～0.95%
- ・融資期間：運転7年、設備10年、据置3年

「新事業展開・リカレント支援資金」

- ・融資限度額：80,000千円
- ・融資利率：年2.00%以内
- ・保証料率：年0.45%～1.05%
- ・融資期間：運転7年、設備10年、据置2年

担当：企業支援課

⑧ WITH・コロナ「徳島ビジネスチャレンジメッセ」強化事業



【令和2年度9月補正予算額 4,500千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済活動のデジタルシフトが急速に進んでいる状況を踏まえ、新たな挑戦として「徳島ビジネスチャレンジメッセ」を「Web」と「リアル」を融合させた「ハイブリッド型」で開催し、WITH・コロナ時代における県内産業の活性化を図る。

2 事業内容

(1) ⑧ ビジネスマッチング機能の強化 1,500千円

県内企業と県外大手企業との取引関係の構築や販路拡大に着実につなげていくため、大手企業OBで構成されるNPO法人の広範なネットワークを活用し、事前の調整から商談時のサポート、フォローアップまで、「オンライン」によるきめ細やかなマッチング支援を実施する。

(2) ⑧ イベントコンテンツの強化 3,000千円

県内産業の活性化に向け、産学官が連携し、本県の強みである“光(LED)”の可能性を活かした新たな事業展開や、徳島の将来を担う産業人材の育成等のイベントをオンラインでつなぎ実施する。

- AI、ロボット、次世代LEDなど「最先端技術」の特別展示（ホテル会場等）
- 徳島が誇る2つのブルー「LED・藍」の特別展示・セミナー（東京常設展示場）
- 高等教育機関との連携による小中学生向けLED工作教室（オンライン配信）

担当：新未来産業課



新型コロナ対策木材活用緊急支援事業



【令和2年度9月補正予算額 40,000千円】

1 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、住宅需要や木材価格の低迷が続く中、新たな需要を創出し、県産材を活用していくことが求められている。
とりわけ、森林資源が年々充実する中、大径原木については、生産が増加する一方で、需要の低迷が顕著なため、これを効率的に加工する施設の整備を支援する。
また、県内製材工場等における災害時の仮設住宅への供給体制を検証するとともに、実際に住宅部材を製作することで県産材の活用を図る。

2 事業内容

(1) 大径原木加工施設整備緊急対策事業 25,000千円

原木の中でも、特に需要の低迷が著しい大径原木を、幅広の板材をはじめとした付加価値の高い製品に加工し、新たな販路を確保するため、必要な加工施設の整備に対し支援する。

(2) (新) 仮設住宅県産材活用モデル事業 15,000千円

滞留する県産材の活用を図るため、東日本大震災において本県から供給した木造仮設住宅「板倉構法」の部材をより汎用性の高いものへと規格化し、部材の供給シミュレーションを作成する。
あわせて、モデル的に木造仮設住宅キットを製作し、組立プロセスを動画で記録することで、災害時の円滑な建設や、平時の防災訓練や啓発活動での活用につなげる。

担当：スマート林業課

③ 医療資機材等整備事業



【令和2年度9月補正予算額 368,560千円】

1 目的 世界的需要拡大やグローバルサプライチェーンの分断によるガウン等の「医療資材」の供給不足がもたらす医療崩壊を防止するため、県において「医療資材」を整備し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び、県内における適切な医療提供体制の確保を図る。

2 事業内容 (1) 「医療資材」の購入・確保 368,560千円
調達困難による「医療資材」の不足のため、適切な医療提供体制の確保が困難となる「緊急時」に備え、県において「医療資材」を確保し、国から供給される資材も活用しながら、不足に即応し臨機応変に対応できる供給体制を構築する。

<購入予定の「医療資材」>

- ・サージカルマスク、ガウン、フェイスシールド、ゴム手袋 等

<対象>

- ・より身近な地域医療を提供する病院や診療所

<想定される「緊急時」>

- ・新型コロナウイルス感染症による院内感染やクラスター発生
- ・「医療資材」不足による医療提供体制の弱体化
- ・インフルエンザウイルス感染症の混在による医療機関の混乱 等

担当：保健福祉政策課

新 プッシュ型支援強化推進事業



【令和2年度9月補正予算額 20,000千円】

- 1 目的 全国的に「新型コロナウイルス感染症」がまん延する中、大規模災害が発生した場合、避難所でクラスターによる爆発的な感染拡大が起こるおそれがあり、「過去に例を見ない複合災害」への備えが求められている。
- 避難所では「3密の回避」や「衛生対策の徹底」を図る必要があり、市町村においても必要な物資等の備蓄に努めているが、災害の規模によっては対応できないおそれがある。
- このため、県において、初動時から被災市町村の要請を待たず、避難所における「衛生管理」や「感染防止対策」に必要な支援物資を直接送り届ける「プッシュ型支援」の手法を新たに取り入れ、避難所における被災者の「安全・安心」の確保に繋げる。

2 事業内容 (1) 「プッシュ型支援物資」の備蓄

- ① 段ボールベッド（間仕切り付き） 1,500セット
 - ・手軽に扱え、高齢者をはじめ人の体への負担が少なく、感染症対策としても間仕切りにより3密を回避するとともに、床からの飛沫やほこりを吸い込むリスクを軽減。
- ② 非接触型体温計 200台
 - ・スタッフの接触感染リスクを避けながら、避難所の受付時や毎日の健康管理で活用。

⇒ 県東部・西部・南部各圏域に分散備蓄

(2) 「災害時広域応援体制」の強化

県及び市町村の備蓄物資をデータベース化するとともに、県が調整役となって新たに「プッシュ型相互応援スキーム」を構築し、広域的な応援体制を強化。

(3) 「災害マネジメント総括支援員」の迅速派遣

「徳島県災害マネジメント総括支援員」制度により、避難所における現場ニーズとのコーディネートを行う人員を迅速に投入し、被災市町村の受援体制を支援。

担当：とくしまゼロ作戦課

生活福祉資金貸付金



【令和2年度9月補正予算額 1,062,000千円】

1 目 的 新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯の当面の生活費を支援するため、特例貸付を強化・拡充する。

2 事業内容 (1) 個人向け緊急小口資金等の特例貸付 (生活福祉資金貸付金) 1,062,000千円

○新型コロナウイルス感染症の影響によって収入が減少した方を対象に、緊急かつ一時的な生計維持のための生活費の貸付を実施。(緊急小口資金)

・最大20万円

○新型コロナウイルス感染症の影響によって収入が減少し、その収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難になる方を対象に、生活の立て直しまでの一定期間の生活費の貸付を実施。(総合支援資金)

・貸付期間は「原則3か月」

※貸付期間の3月目において、引き続き生活に困窮し日常生活の維持が困難となっている世帯に対し「最大6か月」まで延長可能

・最大120万円(最大20万円/月×6か月)

新 在宅障がい者等安心確保事業



【令和2年度9月補正予算額 23,650千円】

1 目的 介護者が新型コロナウイルス感染症で入院し不在となった場合に、濃厚接触者である在宅の障がい児者が居宅において一人で生活することや、無症状・軽症者用宿泊施設に一人で入ることは困難が伴うことから、介護者が不在の間、障がい児者の安全・安心を確保するため、既存施設の一部を障がい特性に応じた対応が可能な専用受入れスペースとして整備する。

- 2 事業内容
- (1) 専用入所施設の確保 23,650千円
- 障がい者等の受入れに協力する施設において必要となる、居室の個室化、換気設備、ゾーニング等の空間的隔離に係る施設改修、資機材購入等経費を支援する。
 - ・ 医療用パーティション、電動ベッド、簡易陰圧装置等の購入に係る経費
 - ・ 食事やトイレ、生活空間等の区分（ゾーニング）に係る経費
- (2) 福祉サービス提供体制の確保【既決予算対応】
- 介護者が不在で一時的に保護が必要な障がい者等の、障がい特性に応じた福祉サービスを提供するため、障がい福祉サービス事業所をはじめとする関係団体等と連携した応援体制の構築を支援する。

担当：障がい福祉課

新 「WITH・コロナ対応型」 マラソンへのチャレンジ



【令和2年度9月補正予算額 96,000千円】

1 目的 県民の皆様に支えられ、国内外のマラソンファンからも愛され成長してきた「とくしまマラソン」について、新たなチャレンジとして「WITH・コロナ対応型」での開催を支援する。

2 事業内容 **(1) とくしまマラソン支援事業 30,000千円**

マラソン競技（オンラインマラソン含む）の開催にあたり、安全で快適な対応策を実施するための支援を行う。

- ・密回避のため、定員を昨年の1/3の5,000人に削減
- ・時間と場所を選ばない「オンラインマラソン」も併せて開催

(2) 新 「WITH・コロナ」時代のとくしまマラソン モデル創出事業 66,000千円

新型コロナウイルスの感染症対策の実施により、ランナーをはじめ、全てのマラソン関係者が安心して参加できるよう、万全の安全対策を講じる。

- ・日本陸連策定の「ロードレース再開についてのガイダンス」に準じた運営
- ・全てのマラソン関係者の体調管理を徹底（検温の実施・体調管理表の提出など）
- ・マスク、フェイスガード、ゴム手袋など、個人防護具の着用
- ・密の削減のため「送迎バス」や「仮設トイレ」の台数を確保
- ・沿道に設置した「ビジョンカー」に事前公募した応援メッセージや動画を放映

担当：にぎわいづくり課



リタイアインフラを活用したリスタート「とくしま暮らし」提案モデル事業



【令和2年度9月補正予算額 10,000千円】

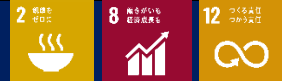
- 1 目的**
- 「新型コロナ禍」での「価値観の変容」により高まる「地方分散」の機運を捉え、「とくしま回帰」を推進するため、空き家をはじめ県内に点在する「リタイア・インフラ」の「リスタート」を図ることにより、
- 「豊かな自然」や「全国最先端のICT環境」といった本県の強みを最大限活かし、「WITH・コロナ」時代のライフスタイルにマッチした「とくしま暮らし」モデルを提案する。

※「リタイア・インフラ」：空き家など現在常態として利用されていない建築物

- 2 事業内容**
- | | |
|--|----------------|
| <p>(1) リスタート可能な「リタイア・インフラ」の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住者用の「住宅」や、リモートワーク可能な「コワーキングスペース」等、「とくしま回帰の受け皿」としての活用が期待される「リタイア・インフラ」について、「専門家」や「庁内タスクフォース」と連携し、調査を実施する。 | <p>3,000千円</p> |
| <p>(2) 「WITH・コロナ」時代にマッチした「とくしま暮らし」の公募・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方における「WITH・コロナ」時代のライフスタイルとして、「リタイア・インフラ」を活用した「とくしま暮らし」モデルの公募を行う。 ・ 優秀な提案について、表彰するとともに、その魅力を全国に広く発信し、本県で「リスタート」を目指す人々とのマッチングに繋げていく。 | <p>7,000千円</p> |

担当：とくしま回帰推進課

新 WITHコロナに向けたターテーブル対応強化事業



【令和2年度9月補正予算額 50,000千円】

1 目的 WITHコロナ時代の「消費行動」や「ニーズの変化」に対応した首都圏プロモーションを展開し、ターテーブルにおける「徳島の食」の供給・販売の拠点化を推進するため、「マルシェの拡充」や「都会のオーベルジュとしての魅力向上」を図るとともに、「新しい生活様式」に対応した環境整備を行う。

2 事業内容

(1) 「消費行動やニーズの変化」に対応するプロモーション強化

- ① 家庭消費の需要の高まりなど、消費者ニーズの変化に対応した県産品プロモーションを行うため、「マルシェ」を拡充し、首都圏の消費者への県産食材の供給機能及び実需者に向けた県産食材の商談・マッチング機能を強化する。
 - ◇物販エリアを拡大し、新鮮な県産野菜を販売する「産直マルシェ」にリニューアル
 - ◇飲食店向けの県産野菜のショールームとして「産直マルシェ」を活用
 - ◇消費者や実需者ニーズに即応する「商品開発」「テストマーケティング」の実施
- ② 「徳島の食」を楽しむ「都会のオーベルジュ」として5階スペシャルルームの魅力アップ
 - ◇テラスを食事ができるようリニューアルし、客室と一体的に利用
 - ◇藍染めや大谷焼きなど、工芸品を多用し、徳島を体感できる魅力的な空間を創出

(2) 「新しい生活様式」に対応する環境整備

- 利用者に「安全・安心」な利用環境を提供するため、新型コロナウイルスのガイドラインを踏まえた、新しい生活様式に対応する環境整備を行う。
- ◇ソーシャルディスタンスを確保する飲食スペースの拡大
 - ◇パーテーション・仕切り板や空気清浄機等の設置

担当：もうかるブランド推進課

リスタート！体感とくしまモデル化事業



【令和2年度9月補正予算額 3,000千円】

1 目的 地方分散への機運が高まるいま、「WITH・コロナ時代」における徳島ファン創出の新たなモデルを構築し、首都圏へ向けた情報発信を展開する。

2 事業内容 **(1) 徳島体験企画の実施 【6月既決予算利用】**
 首都圏在住者を主なターゲットに、従来の働き方とは趣の異なる「新たなスタイル」を提案する徳島体験企画により、「徳島ファン創出」を推進。

(体験例)

- ・ワーケーション型: 徳島での休暇の合間にコワーキング等でテレワークを実践
- ・ブレジャー型 : 徳島への業務出張の中に、観光を組み込んだ出張休暇を体験
- ・オンライン複合型: 農業体験等を「徳島での現地体験」と「オンライン交流」の「複合型体験」を実施。

(2) モデル構築の可能性調査
 体験企画参加者へのインタビューなどにより、WITH・コロナ時代における首都圏在住者の顕在的・潜在的なニーズを把握するとともに、本県の「強み」や「改善点」を整理。

(3) 共感を誘う情報発信
 地域を物語として紹介することで、視聴者の共感を誘う映像手法を用いて、本県の魅力を発信する映像コンテンツを制作し、「新しい働き方を実践するなら徳島！」をプロモーション。

担当：東京本部、とくしま回帰推進課

首都圏・関西圏発！「阿波おどり」魅力発信戦略



【令和2年度9月補正予算額 5,900千円】

1 目的 首都圏や関西圏を中心に「新しい生活様式」を踏まえた「阿波おどり」の普及促進を図り幅広い「徳島ファン」の獲得を強力に推進する。

2 事業内容 **(1) 首都圏発・阿波おどり普及啓発事業 2,100千円**

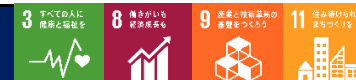
- ・首都圏在住者を対象にオンライン等による「阿波おどり講座」を開催。
- ・講座の状況や徳島の魅力をSNS等で拡散し、幅広く魅力を発信。

(2) 阿波おどReスタート！From関西 3,800千円

- ・関西圏在住者を対象にCATVにて「阿波おどりワークショップ」を中心とした番組を制作・放送し、阿波おどりを普及するとともに、HP、SNS等へ誘導。
- ・CATV放送内容を更に充実させた魅力的なコンテンツを、HP、SNS等にて発信・拡散。

担当：東京本部、関西本部

新「とくしまニューノーマル映画祭」開催事業



【令和2年度9月補正予算額 11,000千円】

1 目的

(1) 地域活性化

イベント開催見合わせにより全国で約3兆円の経済損失（本年3～5月、政投銀試算）の状況を踏まえ、地域活性化に向けて「イベントをリスタート」する必要性

(2) 新しい生活様式

感染リスク低減のため、「新しい生活様式」に即した新しい開催スタイルを構築

(3) クリエイティブの発信

若い世代を中心に、これまで根付いてきた「クリエイティブの命脈」を次代につなげる情報発信の場を創設！

→ **これがイベントの新常態！**

ニューノーマル型イベントモデルを徳島から創造！

2 事業内容

令和3年3月、「とくしまニューノーマル映画祭」を徳島市内で新たに開催！

- 屋外スクリーンによる開放型映画祭！さらに、商店街とも連携し、上映会場を街並みに分散配置することで、「三密」を回避（ドライブイン型の視聴環境も構築）！
- 映画の続きを、スマホで視聴！「オフライン（上映）×オンライン（配信）」の「ブレンディッド開催」により、新しい情報発信の形を提案！
- 映画だけではない！VR、eスポーツ、屋外アート、花火など、デジタル・アナログ相まった徳島のクリエイティブを満載・体験
- イベントの雰囲気になじんだ「フェイスシールド」導入、会場のパーティションにも、「徳島ならではのアートで装飾」することで、WITHコロナ、アフターコロナを見据えたイベント版「新しい生活様式」を徳島から発信！

担当：とくしま回帰推進課

① 私立高等学校等オンライン学習環境整備支援事業



【令和2年度9月補正予算額 30,000千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備え、平時はもとより、臨時休校等の緊急時においても子供たちの学びを保障するため、「オンライン学習環境の整備」を早急に実現することが喫緊の課題となっている。

Society 5.0時代を生きる子供たちを誰一人取り残すことなく学びを保障するため、私立高等学校等が実施する「1人1台端末」の整備を支援する。

2 事業内容 平時におけるICT活用教育の推進を図るとともに、緊急時においてもオンライン学習を行うことができる環境を早急に整備するため、県内の私立高等学校等が実施する「1人1台端末」の整備を支援する。

(1) 補助対象者

- ・ 県内私立高等学校
- ・ 県内私立専修学校（高等課程）

(2) 補助内容

各校における1人1台端末の整備に係る経費に対し、補助（定額）する。

⑨ 「新しい生活様式」に対応した学校施設魅力向上事業



【令和2年度9月補正予算額 30,000千円】

- 1 目的 「新しい生活様式」に対応した安心・安全な環境を創出するとともに、県外からの受検者数の増加や各学校の特色化・魅力向上につなげるため、学校施設（調理室・食堂）の環境改善を行う。
- 2 事業内容 県内外の生徒が多く利用する寄宿舎等の調理室及び食堂の長寿命化改修により
- (1) 「新しい生活様式」に対応した安心・安全な環境の創出
学校施設においても「WITH・コロナ時代」にふさわしい環境が求められているため、「新しい生活様式」に対応した安心・安全な環境で食事を提供できるようにする。
- (2) 学校施設の魅力向上
生活において大切な「食」の環境を充実させ、学校の特色化・魅力向上につなげていく。
- 対象施設
- ・ 徳島寮（寄宿舎）
 - ・ 三好寮（寄宿舎）
 - ・ 鳴門渦潮高校 生徒会館
- 改修内容
- ・ 外部改修（外壁改修・屋上防水改修）
 - ・ 内部改修（食堂の衛生改善、自動水栓化、空調・換気設備設置 等）
- スケジュール
- ・ 令和2年度～3年度 設計・工事

担当：施設整備課

① 県立学校「ディスカバーとくしま」促進事業



【令和2年度9月補正予算額 20,000千円】

1 目 的 修学旅行を「ふるさととくしま」の魅力を再発見する機会につなげるとともに、県内観光産業に寄与するため、行き先を県内に変更することにより発生した変更費用を支援する。

また、県内修学旅行が、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止する場合のキャンセル料についても支援する。

※関連事業「周遊促進！徳島観光すいすい事業」（観光政策課）

2 事業内容

(1) 補助対象

県立学校に在籍する児童・生徒の保護者

(2) 支援内容

- ① 修学旅行の行き先を県外から県内に変更する際に発生した変更費用（企画料、宿泊取消料）について、予算の範囲内で補助を行う。
- ② 県内修学旅行の中止により発生したキャンセル料について、予算の範囲内で補助を行う。

(3) 補助額

- ① 修学旅行の行き先を県外から県内に変更するために発生する変更費用
（上限：児童・生徒一人当たり10,000円）
- ② 県内修学旅行費のキャンセル料
（上限：児童・生徒一人当たり10,000円）

担当：学校教育課

県立学校生通学時における「新しい生活様式」導入推進事業

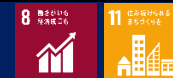


【令和2年度9月補正予算額 30,000千円】

- 1 目的 県立学校生の通学時の安心・安全を確保し再度の臨時休業のリスクを軽減するとともに、通常の教育活動を確保し「学びを保障」するため、混雑状態にあるJR四国の列車の補完輸送手段として、通学のための臨時的な貸切バスを運行する。
また、この取組みを通して、県民に「新しい生活様式」を広める契機とする。
- 2 事業内容 JR四国の列車の混雑状態を緩和し、通学にJRを利用する県立学校生の感染リスクを低減するため、バスによる補完輸送を行う。
- (1) 運行予定日数 90日程度（11月～2月）
 - (2) 運行予定台数 5台程度
 - (3) 運行予定区間

佐古駅前から城南高校まで	大型バス2台運行
南小松島駅前から富岡東高校まで	大型バス1台運行
江口駅前から池田高校まで	大型バス1台運行
三加茂駅前から池田高校まで	大型バス1台運行
- ※ JR四国の混雑状況により、上記区間以外でもバスを運行

新脱ハンコ！県庁バックオフィスデジタル化加速事業



【令和2年度9月補正予算額 44,600千円】

1 目的 書面・押印・対面主義から脱却し、テレワーク業務の拡大により切れ目のない行政サービスを提供するため、県庁バックオフィスに係る「会計事務関連システム」を改修し、「会計事務の電子決裁化」を図ることで、行政のデジタル化を推進する。

2 事業内容 現状では電子決裁に対応していない「会計事務」及び「物品管理事務」について、次のとおりシステムの開発・改修を行い、テレワーク対応が可能な環境を構築する。

(1) 電子請求受付システムの構築 5,000千円

県に対する支払請求を「電子申請」でも受付できるシステムを構築し、事業者の請求事務に係る利便性向上に寄与する。

(2) 財務会計システムと電子決裁システムの連携 6,600千円

年間の総立案件数の6割以上を占める「会計事務」を電子決裁できるよう、システム間の連携を行う。

(3) 物品管理システムの再構築 33,000千円

「会計事務」と一体的に行われる「物品管理事務」について、「発注、支払、物品台帳への登録」の業務を一元管理するため、システムの再構築を行う。

担当：スマート県庁推進課

⑨ 障がい者「eスポーツ」交流大会開催事業



【令和2年度9月補正予算額 2,500千円】

1 目的 「新しい生活様式」に即しつつ、障がい者の社会参加と障がい者理解の促進を図るため、「徳島県障がい者スポーツ協会」と連携し、障がいの有無に関わらず誰もが参加できる「eスポーツ」を核とした交流機会を創出する。

2 事業内容 (1) 障がい者「eスポーツ」交流大会
県内外の障がい者支援施設の利用者を参加対象とした、「eスポーツ」の交流大会を、オンライン・オフラインの両面で開催する。

(2) 「eスポーツ」チャレンジマッチ
「eスポーツ」プロ選手等との試合を実施し、障がいのある人とない人との交流機会を創出する。

(3) 体験会の開催
「eスポーツ」に新たに取り組みたい方を対象とした体験・練習会や、パラリンピック種目が楽しめるパラスポーツ体験会を行うとともに、障がい者就労施設の製品販売会を開催する。

⑧ 電子図書館を使いやすくする事業



【令和2年度9月補正予算額 4,500千円】

1 目的 「新しい生活様式」に対応し、今後、施設の使用制限があった場合でも、図書館を多くの人に確実に利用していただくため、ICT活用サービスの使い勝手をよくする。

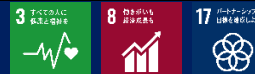
2 事業内容 (1) 「新しい図書館様式」機能の追加 2,000千円

図書館が予約貸出に絞って入館制限を行った際に寄せられた利用者からの声に応えるため、図書館システムを一部改修して、ネットからの貸出カード事前登録と、テーマリストからリンクを辿って多くの本に出会う、寄り道的なレファレンス（読書相談）といった便利な機能を追加する。

(2) 電子書籍コンテンツの拡充 2,500千円

県立学校の児童生徒と教員約2万人が県立図書館電子書籍閲覧サービスのユーザーに加わったことを契機に、GIGAスクール構想で活用できるように、中高生や子育て・教育関係者向け分野を追加するとともに、人気タイトルへの同時アクセス可能数を増やし、利用者全体の選択肢を拡げる。

① 新たなスポーツ大会・合宿スタイル確立事業



【令和2年度9月補正予算額 7,000千円】

- 1 目的 「WITH・コロナ時代」に求められる新たな大会・合宿スタイルを確立し、スポーツツーリズムを推進するため、「徳島県スポーツコミッション」を中核とし、「モニター合宿」の実施や、実施側・受入側双方のノウハウの蓄積に取り組むことにより、「スポーツ合宿の聖地」を目指す。
- 2 事業内容
- (1) **「モニター合宿」の実施** 2,000千円
「新しい生活様式」やガイドラインに対応した合宿に必要な経費を助成することにより、「WITH・コロナ時代」における課題を把握・整理し、新たな大会・合宿スタイルの確立に繋げる。
 - (2) **感染症対策支援** 3,000千円
「新しい生活様式」やガイドラインに対応した大会・合宿に必要な備品を整備し、大会・合宿主催者への貸出しを行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプやワールドマスターズゲームズ2021関西の受入に備える。
 - (3) **実施・受入態勢強化** 2,000千円
「WITH・コロナ時代」の新たなスポーツ大会・合宿スタイルについて、正しく理解し実践するため、実施側・受入側双方に対して、オンライン等による講習会を開催する。

担当：国際スポーツ大会課

⑧ 糖尿病アクション事業



【令和2年度9月補正予算額 6,000千円】

- 1 目的 糖尿病の発症及び重症化予防に向け、「食」と「運動」を通じた糖尿病対策をより効果的なものとするため、「働き盛り世代」への働きかけ・「健康無関心層」の掘り起こしを強力に推進する。
- 2 事業内容
- (1) 「高齢者になる前の世代」及び「65歳からの前期高齢者」への働きかけ 3,800千円
- 「高齢者になる前の世代」に対し、商工団体と連携し、健康経営を司る中小企業診断士等による特定健診・特定保健指導受診の勧奨を行うことにより、自身の健康状態に「気づき」をもち、次の発症予防対策につなげていく。
 - 「65歳から74歳までの前期高齢者」に対し、介護訪問事業所と連携し、生活習慣の改善や特定健診・特定保健指導受診の勧奨を行う。
 - とくしま健康ポイントアプリ「テクとく」を活用し、特定健診を受診した県民を対象に、「県産野菜の詰め合わせプレゼント抽選」を行う。
- (2) 「食」「運動」を通じた糖尿病対策 2,200千円
- 医療機関において、糖尿病患者に対する栄養指導を行う管理栄養士を養成するための研修を実施する。
 - 「新しい生活様式」下において、「野菜たっぷり阿波尾鶏弁当（仮）」の開発販売及び「阿波踊り体操」とコラボした普及促進を行う。
 - 世界糖尿病デー(11/14)に併せた「ブルーライトウォーキング」を、県内3圏域(南部圏域を追加)で実施する。
 - 事業の周知促進と「テクとく」の更なる利用率向上を図るため、「テクとく」プラットフォーム上において、連動企画を実施する。
 - ・「野菜摂取量350グラム関連のミッション」を達成した方への「プレゼント抽選」
 - ・協力店との連携等「スタンプラリー」機能の強化

担当：健康づくり課

新 国保ヘルスアップ支援事業



【令和2年度9月補正予算額 106,500千円】

- 1 目的 国保と後期被保険者の生涯を通じた健康管理支援を効果的に進めるため、医療・介護・健診データの分析を行い、地域の健康実態や個人の健康状態を「見える化」し、生活習慣病の発症及び重症化が懸念される被保険者への効率的な保健指導等につなげる。
- 2 事業内容
- (1) 国保・後期被保険者の健康実態の把握とデータ分析 60,385千円
市町村が所有する国保と後期の医療・介護・健診データを、一体的に管理することで、地域の健康実態を可視化し、地域特性を踏まえた効果的な保健事業に活用する。
 - (2) 保健指導対象者の効率的な抽出に向けたシステム開発 46,115千円
医療・介護・健診データから、生活習慣病を発症及び重症化しやすい保健指導対象者を効率的に抽出する環境を整備する。
 - ①保健指導対象者抽出ツールの機能強化
対象者枠を後期高齢者まで拡大し、フレイルや介護の予防を図る。
 - ②各種データを活用した個人経年表作成システムの開発
被保険者ごとの経年表を作成できるようにして、市町村の保健指導を支援する。

病床機能分化・連携推進体制整備事業



【令和2年度9月補正予算額 240,000千円】

- 1 目的 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向けて、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、「不足する病床機能の整備」により、病床機能の分化・連携を推進し、地域医療構想の実現を目指す。
- 2 事業内容 (1) 病床機能分化・連携推進体制整備事業 240,000千円
急性期から回復期、在宅医療に至るまで、一連のサービスを地域において総合的に確保するため、不足する回復期への病床機能の転換などに必要な施設・設備の整備を支援する。
- ①施設整備支援
 - 地域医療構想の達成に向けた病床機能の転換等を進めるため必要な新築、増築及び改修に要する費用を補助する。
 - ・工事費、施工管理費等
 - ②設備整備支援
 - 地域医療構想の達成に向けた病床機能の転換等を進めるため必要な新築、増築及び改修に伴う備品購入費を補助する。
 - ・医療機器等

地域医療介護総合確保基金事業（介護分）



【令和2年度9月補正予算額 501,440千円】

- 1 目的 高齢者等が住み慣れた地域において継続して日常生活を営むことができるようにするため、介護医療院への転換や、介護施設等サービスの周辺整備を支援することにより、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。
- 2 事業内容
- (1) **①** 介護サービスの質の向上等に向けた施設整備支援 409,600千円
 介護人材の確保や、業務効率化など、介護サービスの質の向上を推進するため、施設の大規模改修に伴うICT導入や、介護職員の宿舎整備を支援する。
- 大規模改修の際にあわせて行うICT等の導入支援 184,800千円
 介護現場の生産性向上を推進するため、介護施設等の大規模改修の際にあわせて行うICT等の導入に必要な経費を補助する。
 - 介護職員の宿舎施設整備事業 20,000千円
 外国人を含む介護人材を確保するため、介護事業者が職員用の宿舎を整備する費用の一部（1/3）を補助し、介護職員が働きやすい環境を整える。
- ※新規メニューの財源として、同額を基金積立（国2/3） 204,800千円
- (2) 介護医療院への転換整備促進 91,840千円
 高齢化社会における慢性期の医療・介護ニーズへの対応として、医療の必要な要介護高齢者の長期療養・生活施設である介護医療院への転換整備を支援する。

地域介護・福祉空間整備等施設整備事業



【令和2年度9月補正予算額 30,000千円】

1 目的 災害発生時に高齢者施設の利用者や地域の要配慮者等の安全・安心を確保するため、高齢者施設等において、非常災害時における施設機能の維持のほか、福祉避難所としても対応可能とするための施設整備を支援する。

2 事業内容 (1) 新 高齢者施設等の非常用自家発電・給水設備整備事業 30,000千円
高齢者施設等が、災害による停電・断水時においても、電力・水を自力で確保するため行う非常用自家発電設備・給水設備の整備を支援する。

※災害時に地域の要配慮者の受け皿となる福祉避難所としても、機能維持を可能とする設備設置を支援

※総事業費5,000千円以上の規模となる設備整備が対象(国1/2・県1/4・事業者1/4)

【令和2年度9月補正予算額 188,650千円】

1 経緯・背景

本県では、全国に先駆け「県産材利用促進条例」を制定し、「木育の推進」を位置づけるとともに、県内20箇所に「木育広場」を設置し、木の良さを体感しながら林業や森林への理解を深める「木育活動」を展開してきた。

こうした取組みに加え、今後は、木材を利用することで森林の保全につなげる「エシカル消費」や、木材・木工などの「伝統産業」、遊山箱・農村舞台などの「木の文化」を継承する観点で、木育活動をさらに充実・強化していくことが求められている。

2 目的

徳島の豊かな森林や木にまつわる産業や文化を「学び、遊び、体験」できる中核拠点、さらには、県内の木育広場と相互に活動を強化する連携拠点や、新たな「にぎわい」の創出拠点として「徳島木のおもちゃ美術館（仮称）」を整備する。

3 事業概要

(1) 「徳島 木のおもちゃ美術館（仮称）」の整備 185,650千円

「あすたむらんど徳島・四季彩館」の内部を、県産材を使った木質空間として全面改装し、「学び、遊び、体験」できる様々なブースを配置するとともに、オリジナルの木のおもちゃや木製遊具、調度品などを配備する。

あわせて、隣接する「くつろぎ館（食堂）」の県産材による木質リニューアルや、美術館までのアプローチ「木育の小径」を整備する。

＜館内の主なブース＞

- ・感性豊かな心を育む「赤ちゃん木育広場」
- ・家族で木工体験が楽しめる「木育工房」
- ・VR、ARといった最新の映像技術を駆使し林業の学びが体験できる「ごっこフォレスト」

(2) 運営人材の育成、広報 3,000千円

- ・館内の各ブースで来客対応業務に従事する「木のおもちゃ学芸員」の養成
- ・パンフレットやホームページ、SNSなど情報ツールの制作

新 “ニューノーマル”阿波おどりの祭典事業



【令和2年度9月補正予算額 63,500千円】

1 目的 「阿波おどりへの熱い思い」をつなぎ、「阿波おどり再始動」の契機とするため、WITH・コロナ時代のモデル事業として、感染予防対策を徹底した「安全・安心」の下での阿波おどりイベントを開催するとともに、阿波おどりを活用した観光誘客を強化する。

2 事業内容 **(1) 「ニューノーマル阿波おどりの祭典」の開催 60,000千円**

【ニューノーマル阿波おどりの祭典】(12月上旬)

- 「アスティとくしま」をメイン会場に、県内外の会場をオンラインで結んで開催
 - リアル 有名連による迫力ある演舞「阿波おどり大絵巻」
 - リモート 県内各地域での踊りをオンラインで中継「ふるさと躍動 阿波おどり」
東京・大阪からオンラインで、海外からはビデオメッセージで参加「世界阿波おどり演舞」
- 感染予防対策の徹底
 - ▶ 3密回避（座席指定、時差入退場等） ▶ 会場内予防（検温、消毒、マスク徹底等）
 - ▶ 「とくしまコロナお知らせシステム」「接触確認アプリ“COCOA”」の事前登録

【ニューノーマル阿波おどりPLUS（プラス）】(11月中旬～12月上旬)

- 当該イベントとタイアップし、県内自治体が参画して開催される「WITH・コロナ」に対応した阿波おどりイベントや、観光・文化施設が実施する「あわ文化PRイベント」への支援を行う。

(2) 「阿波おどり」による誘客促進等 3,500千円

- 秋・冬期間における阿波おどり鑑賞を組み込んだ「本県ならではの」の旅行商品造成に対する助成制度の充実を図る。
 - ▶ 見直し 催行人数要件の緩和：20人以上/商品 → 15人以上/商品
 - ▶ 拡充 商品造成にかかる基本助成額の引上げ：4万円/商品 → 6万円/商品
県内交通機関利用加算の創設（1万円/商品）

担当：観光政策課

⑧ WITH・コロナ時代の「アニメの聖地とくしま」チャレンジ事業



【令和2年度9月補正予算額 8,500千円】

1 目 的 県内外に多くのファンを持つ「マチ★アソビ」を今後につなげるため、「WITH・コロナ」時代に対応した「チャレンジ！マチ★アソビ」及び「チャレンジ！ぷち★アソビ」の開催を支援する。

2 事業内容 (1) 秋の「チャレンジ！マチ★アソビ」の開催支援 7,500千円

『ウェブの活用』『リモート会場の設置』『期間の長期化』等の工夫を凝らし実施する。

○参加機会の拡大

SNS等で「これまで・これからのマチ★アソビ」等のテーマで自由に投稿して貰い反響が大きいものをイベントで紹介する等在宅でも参加できる企画を実施する。

○ニューノーマル対応型イベント

人気アニメ・声優によるステージ・トークイベントを、定員を限定し、複数の会場をネット中継でつなぐなど、新しい生活様式に対応して開催する。
また、商店街と連携し空店舗などを活用した「WITH・コロナ」時代での新たなにぎわいの創出を図る。

○地域効果の創出

「アニメの聖地とくしま」の雰囲気醸成し、体験してもらうため、公共交通機関を活用したアニメラッピングや、感染拡大予防ガイドラインを実践する飲食店と連携したグルメハント等をアフターイベントとして実施する。

(2) 冬の「チャレンジ！ぷち★アソビ」開催支援 1,000千円

秋の「チャレンジ！マチ★アソビ」実施のノウハウを活かし、「冬の阿波おどり」とも連携したファミリー向けの新しい生活様式に対応した商店街イベントを開催する。

担当：にぎわいづくり課

周遊促進！徳島観光すいすい事業



【令和2年度9月補正予算額 25,000千円】

1 目的 観光需要が停滞する状況のもと、県内バスを利用した、「県内旅行商品の造成促進」及び「県内の学校が実施する県内修学旅行の催行」に対する支援を強化する。

2 事業内容 **(1) 県内外の観光客を対象とした団体旅行商品への支援 7,000千円**
 (県内スポーツ合宿も対象に含む。) (既決予算 10,000千円)

(2) 県内の学校が実施する県内宿泊旅行を催行する旅行会社への支援 18,000千円

バス300台(※) × 6万円 = 18,000千円

※6,000人(県立学校1学年あたりの生徒数) ÷ 20人(バス1台あたり乗車人数) = 300台

(参考) バス助成要件の見直し

県内外からの誘客促進のためのインセンティブ強化

- ・ 最少催行人数の緩和 20人/台 → 15人/台
- ・ 基本助成額の引上げ 3万円/台 → 5万円/台
- ・ 県内バス会社を利用した場合の加算(新設) 1万円/台

(令和2年9月以降に催行される旅行商品から、上記助成要件を適用)

とくしまリスタート！プログラム

新型コロナ禍による「価値観の変容」に伴う「地方分散」の動きに呼応し、「新しい生活様式」の実践の場として、とくしま回帰を推進する「リスタート支援策」を結集！

4月・6月・9月補正予算

「暮らし」のリスタート！ **移住促進！コロナ禍を契機に、新天地・徳島でのリスタートを支援！**

713百万円

4月補正

- 採用内定取消者等を対象とした会計年度任用職員の採用
(44,000千円・人事課・職員厚生課)

6月補正

- リスタート！新しいとくしま暮らし支援事業
(30,000千円・とくしま回帰推進課)
- ふるさと回帰「絆」強化事業(40,000千円・総合政策課・東京本部・関西本部)
- 新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業(20,000千円・労働雇用戦略課)

- Web企業説明会開催支援事業(5,000千円・労働雇用戦略課)
- スマートライフ先取り！事業者応援事業(500,000千円・商工政策課)
- 「とくしまの魅力再実感！」若者定住促進事業(とくしま回帰推進課)(※1)
- わくWORK徳島！新しいふるさと発見事業(とくしま回帰推進課)(※1)

9月補正

- リスタート！体感とくしまモデル化事業
(3,000千円・東京本部・とくしま回帰推進課)

「インフラ」のリスタート！ **とくしま回帰の受け皿づくり！「リタイアインフラ」を新たな形にリスタートし、フル活用！**

1,073百万円

4月補正

- 旧海部病院改修軽症者等療養体制確保事業(850,000千円・病院局)

6月補正

- 新しい生活様式発信！とくしまサテライトオフィス誘致加速化事業
(20,000千円・Society5.0推進課)

9月補正

- リタイアインフラを活用したリスタート「とくしま暮らし」提案モデル事業
(10,000千円・とくしま回帰推進課)
- 「徳島木のおもちゃ美術館(仮称)」整備推進事業
(188,650千円・スマート林業課)
- 「とくしま・移住・DIY」空き家利活用促進事業(3,900千円・住宅課)

「イベント」のリスタート！ **地域経済を守る！イベントを、WITH/アフターコロナに適應する「新常态(ニューノーマル)」でリスタート！**

373百万円

9月補正

- 「とくしまニューノーマル映画祭」開催事業(11,000千円・とくしま回帰推進課)
- 首都圏発・阿波おどり普及啓発事業(2,100千円・東京本部)
- 阿波おどReスタート！From関西(3,800千円・関西本部)
- スマートライフに対応した文化芸術創造応援事業(県民文化課)(※1)
- 新たなスポーツ大会・合宿スタイル確立事業(7,000千円・国際スポーツ大会課)

- “ニューノーマル”阿波おどりの祭典事業
(63,500千円・観光政策課)
- 「WITH・コロナ」時代のとくしまマラソンモデル創出事業
(66,000千円・にぎわいづくり課)
- WITH・コロナ時代の「アニメの聖地とくしま」チャレンジ事業
(8,500千円・にぎわいづくり課)
- 実践！スマートライフ防災事業(600千円・南部総合県民局)
- 西部健康防災公園「スマート活用」推進事業(1,960千円・西部総合県民局)

(※1)スマートライフ先取り！事業者応援事業の内数
(※2)記載事項は主なものであるため、合計額は一致しない

総額2,158百万円

総合戦略“第2幕”！地方創生のリスタート！

担当：とくしま回帰推進課

「とくしまリスタート！プログラム」事業一覧

(単位:千円)

分野	予算編成	事業名	事業費	担当部局	
「暮らし」の リスタート！	4月	採用内定取消者等を対象とした会計年度任用職員の採用	44,000	人事課・職員厚生課	
	4月	住まいのセーフティネット緊急対策事業	8,000	住宅課	
	6月	リスタート！新しいとくしま暮らし支援事業	30,000	とくしま回帰推進課	
	6月	ふるさと回帰「絆」強化事業	40,000	総合政策課・東京本部・関西本部	
	6月	障がい者就労「開拓」応援事業	38,000	健康づくり課・障がい福祉課	
	6月	新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業	20,000	労働雇用戦略課	
	6月	Web企業説明会開催支援事業	5,000	労働雇用戦略課	
	6月	スマートライフ先取り！事業者応援事業	500,000	商工政策課	
			「とくしまの魅力再実感！」若者定住促進事業	※	とくしま回帰推進課
			わくWORK徳島！新しいふるさと発見事業	※	とくしま回帰推進課
			あなたの知りたい徳島まるごと体感事業	※	とくしま回帰推進課
			雇用・人材確保による企業支援プロジェクト	※	労働雇用戦略課
	6月		にし阿波・観光ミックスワーキングモデル構築事業	3,000	西部総合県民局
	6月		自宅につながる県民参加の木育支援事業	11,000	西部総合県民局
	9月		リスタート！体感とくしまモデル化事業	3,000	東京本部・とくしま回帰推進課
	9月		スマート農業経営モデル確立事業	10,665	経営推進課
	-		就職氷河期世代を対象とした徳島県職員の採用	-	
		17事業	712,665		

「とくしまリスタート！プログラム」事業一覧

(単位:千円)

分野	予算編成	事業名	事業費	担当部局
「インフラ」の リスタート！	4月	旧海部病院改修軽症者等療養体制確保事業	850,000	病院局
	6月	新しい生活様式発信！とくしまサテライトオフィス誘致加速化事業	20,000	Society5.0推進課
	9月	リタイアインフラを活用したリスタート「とくしま暮らし」提案モデル事業	10,000	とくしま回帰推進課
	9月	「徳島木のおもちゃ美術館(仮称)」整備推進事業	188,650	スマート林業課
	9月	「とくしま・移住・DIY」空き家利活用促進事業	3,900	住宅課
			5事業	1,072,550
「イベント」の リスタート！	9月	「とくしまニューノーマル映画祭」開催事業	11,000	とくしま回帰推進課
	9月	首都圏発・阿波おどり普及啓発事業	2,100	東京本部
	9月	阿波おどReスタート！From関西	3,800	関西本部
	9月	スマートライフに対応した文化芸術創造応援事業	※	県民文化課
	9月	障がい者「eスポーツ」交流大会開催事業	2,500	ダイバーシティ推進課
	9月	新たなスポーツ大会・合宿スタイル確立事業	7,000	国際スポーツ大会課
	9月	WITH・コロナ「徳島ビジネスチャレンジメッセ」強化事業	4,500	新未来産業課
	9月	“ニューノーマル”阿波おどりの祭典事業	63,500	観光政策課
	9月	「WITH・コロナ」時代のとくしまマラソンモデル創出事業	66,000	にぎわいづくり課
	9月	WITH・コロナ時代の「アニメの聖地とくしま」チャレンジ事業	8,500	にぎわいづくり課
	9月	木育サミットレガシー創出事業	1,500	スマート林業課
	9月	乗って応援！公共交通利用促進事業	200,000	次世代交通課
	9月	実践！スマートライフ防災事業	600	南部総合県民局
	9月	西部健康防災公園「スマート活用」推進事業	1,960	西部総合県民局
		14事業	372,960	
合計		36事業	2,158,175	

※スマートライフ先取り！事業者応援事業の内数